



社会が生協に期待すること — 生協懇話会開催 —

識者が語る生協のこれから



生協懇話会では、生協に対するさまざまな意見をいただきました

’07年3月21日、コープ十勝を統合し、組合員130万人、年間事業高2300億円の規模をもつ、全国でも最大広域の生協になりました。北海道の生協がひとつになるに

先立って、各界の有識者から、今後の運営のありかたや社会的に求められる生協の役割などの意見を聞く「生協懇話会」を’06年12月に開きました。

全道ひとつになった生協が、健全な事業展開を進め、北海道にくらすすべての人にとってなくてはならない存在になるためにも、さまざまな意見に耳を傾けることが必要だからです。



地場商品コーナー



コープさっぽろが組合員に対して定めた「7つの約束」

参加いただいた方

敬称略(団体名 五十音順)

団体名	役職	氏名
旭川市農業委員会	委員	山川 八重子
スローフード&フェアトレード研究会	会長	林 美香子
伊達市	市長	菊谷 秀吉
天使大学看護栄養学部	教授	荒川 義人
ホクレン農業協同組合連合会	専務理事	阿戸 正明
北海道環境生活部	部長	佐藤 俊夫
北海道商工会議所連合会	会頭	高向 巖
北海道消費者協会	会長	辻 富美子
北海道生活協同組合連合会	名誉会長	上田 恒夫
北海道大学大学院	経済学研究科教授	濱田 康行
北海道大学大学院	農学研究科教授	飯澤 理一郎
雪印乳業株式会社	代表取締役社長	高野瀬 忠明

経済界、行政、学識者、農業団体など、計12名の方が参加し、職員の教育から高齢者社会への対応、地産地消など社会へ果たす役割について多くの意見をいただきました。

ご意見を真摯に受け止めて、生協関係者は一体となって、より社会的な責任を果たすべく事業の邁進に努めていきます。

北海道の若い力を育てる寄附講座

コープさっぽろと北海学園大学は’07年秋から、民間の団体から寄付を募って運営する「寄附講座」を開講します。’07年3月10日に北海学園大学で寄附講座の調印式が行われ、森本正夫北海学園大学理事長と松村喬コープさっぽろ理事長が固い握手を交わし、若い力を育てていくことを誓い合いました。

寄附講座の大きなテーマは、「21世紀・北海道の将来を展望(デザイン)する」。道内外の専門家を講師に、北海道の可能性や将来像について学ぶ講座です。調印式で松村理事長は「北海道の未来に役立ち、回を追うごとに北海道が元気になったと喜ばれたい」と述べ、地域貢献への意気込みを語りました。



調印書を手に、笑顔で握手する松村理事長(左)と森本理事長

こころ豊かなくらしを願って

コープさっぽろは、文化的に豊かなくらしのお手伝いを行っています。

ラジオ番組 「大好き、元気な北海道」がスタート!

コープさっぽろは’06年4月から、AIR-G’のラジオ番組「大好き、元気な北海道」をスタートしました。130万組合員を擁するコープさっぽろの社会的に果たすべき役割がさらに求められる中で、組合員に留まらず、北海道民が「安全・安心」、そして心豊かにくらししていくためのヒントを、放送を通じてお届けしています。

北海道スローフード・フレンズ帯広リーダーなどを務める一方、自らも酪農家である湯浅優子さんをパーソナリティーに、毎週金曜日に放送しています。’07年3月末で、ゲストは食や環境、農



収録では、湯浅さんとゲストが楽しく、真剣に語り合います(’07年3月23日放送の西山徹さん)

畜産業、漁業などの視点から、生産者、有識者、行政を含めた延べ52人をお呼びしました。北海道の現状と課題、魅力などを湯浅さんとの対談を通して、語っていただいています。

コープさっぽろ文化教室

コープさっぽろ文化教室は、中央文化教室(札幌市中央区北1東1 明治安田生命ビル3F)のほかに地域の拠点店舗11カ所で開設、約400名の講師陣で約900講座が開かれています。講座内容も、組合員の幅広い要望を受けて、語学・絵画・手工芸・音楽・スポーツなど多岐にわたっており、ジュニア向けの講座も充実しています。コープさっぽろの組合員



中央教室「カルチャーフェスタ」より

ならどなたでも入会金無料で参加できます。普段利用しているコープで学べる、地域の中になくはないものとなっています。講座の成果を多くの方にご覧いただく

めの展示発表会を毎年開催していますが、’06年度も9月から10月にかけて各店舗で講師のご協力を得て催しました。

利用状況(’07年3月)

教室名	講座数	受講者
中央	147	1,034人
ルーシー	86	702人
ソニア	102	662人
平岡	97	587人
西発寒	48	392人
いしかり	87	623人
岩見沢東	61	246人
岩見沢南	63	370人
シーナ	55	429人
東光	73	563人
神楽	31	217人
山の手	25	169人
合計	875	5,994人

コープさっぽろ文化鑑賞会

文化鑑賞会は、コープさっぽろ組合員の文化活動として’06年で12年目を迎え、例会も’07年3月で33回を数えました。地域の中で着実に根をおろし、’06年度は各例会とも会員が増えました。

コープさっぽろの組合員ならどなたでも入会でき、手ごろな会費(現行月会費1365円)積み立てで年約3回をお楽しみいただけます。公演は昼夜2回以上行われるので、遠方の方も、働いている方もご参加いただけます。



「出会うよろこび、ふれあう心、ひとりが一人を連れあって輪を広げよう」をキャッチフレーズに、「私たちの文化鑑賞会」という共通の思いと新たな出会いを求めながら活動をしています。

No.	作品名	会場・開催日	会員数
31回例会	サーカス・コンサート	教育文化会館 ’06年7月18、19日	1,820人
32回例会	アントニオ・マルケス舞踏団	教育文化会館 ’06年10月17、18日	1,734人
33回例会	爆笑落語と紙劇落語	教育文化会館 ’07年3月22日	1,677人

’07年度の取り組み計画

■「くらしの安心」に関わる活動の取り組みは、地域からの期待も大きくなっています。これまでの取り組みを充実させるとともに、広く生活に身近な問題にも取り組みます。とくに、消費者問題や社会保障制度と税(消費税)の問題、平和と憲法の問題など社会的な課題について学習できる環境を整備します。’07年度は北海道の若い力を育てる寄附講座を北海学園大学で開講します。